川辺小だより 7月号

春日部市立川辺小学校
令和元年6月24日発行

進んで学び考える子　思いやりのあるやさしい子　元気でねばり強い子

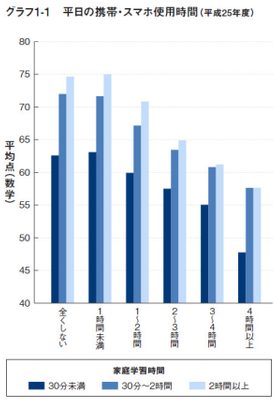
（知恵いっぱい）　（笑顔いっぱい）　（元気いっぱい）

川辺小ホームページ　http://www.kawabe.av-center.kasukabe.saitama.jp/

スマホを使えば使うほど学力が破壊される

校長　鈴木美江

東北大学の川島隆太教授の研究で衝撃的な事実が分かったと言います。それは、子供の生活・学習状況調査から、家で２時間以上勉強しても、携帯電話（スマートフォンもふくむ）でメールやネットゲームをしたりしていると、その学習効果がムダになってしまうというのです。



子供たちの「脳」に、なにが起きているのでしょうか。

深刻にとらえるべきは、家でほとんど勉強をしない生徒たちのデータです。家で勉強をしない生徒たちは、当たり前のことですが、学校でしか勉強していませんから、学校の授業を受けた時に作られた知識・記憶によって、テストの成績が決まります。学校の授業を受けただけの状態で数学の試験を受けると、平成 25 年度の試験では平均で約 62 点の点数がとれています。それが、携帯・スマホを１時間以上使うと、使った時間の長さに応じて成績が低下してしまうのです。４時間以上使うと 15 点も低くなっています。２時間も自宅で勉強して、知識や記憶が増えたはずなのに、４時間以上携帯・スマホを使うと、自宅学習の分はおろか、学校で学んだことまで相殺されてしまっているのだとしたら、これは由々しき事態ではないでしょうか。

ゲイツ氏やジョブズ氏も自分の子供にはスマホを制限していた

世界一の大富豪であるマイクロソフト社の創業者ビル・ゲイツ氏は、英紙『ザ・ミラー』のインタビューで、自分の子供が１４歳になるまでは携帯電話を持たせなかったと明かしたそうです。ゲイツ夫妻には、３人の子供たちがいますが、１４歳になり携帯電話を持たせた後も、食事中に使用することや、寝る前に使用する時間を制限したといいます。

アップルを経営していたスティーブ・ジョブズ氏も、アップルの最初のタブレットが店頭に出回り始めたころのインタビューで、「うちの子供たちは、まだ使ったことがないんだよ。家では、子供たちがテクノロジーを使う時間を制限しているからね。」と言っていたといいます。

『ワイヤード』誌の元編集長で、無線操縦飛行機メーカー「3D ロボティックス」の最高経営責任者であるクリス・アンダーソン氏は、自宅にあるすべてのデバイスに対し制限時間を設け、親が管理するようにしているといいます。彼は 6 歳から 17 歳までの 5 人の子供たちについてこう語りました。「子供たちは、私と妻のことを、ファシストで、テクノロジーについて過剰な心配をしていると非難する。そして、同じような規則がある友だちなんて、一人もいないと言う。でもこうするのは、私たちがテクノロジーの危険をこの目で見てきたし、私自身が経験しているからです。子供たちには、そういうことが起こってほしくはないですからね。」また、アンダーソン氏は、「一番のルールは、寝室にスクリーンを持ち込まないこと。これは例外なしです。」と言っている。

世界最先端のテクノロジー関連の親たちの間には、一つの共通したルールがあります。

大人は、買い与える前に、その機器が「今、本当に必要かどうか」ということを親子で真剣に話し合い、考える必要があります。また、子供たちが欲しがる情報機器は、ゲーム機をはじめそのほとんどがインターネットにつながり通信できる機器です。夏休みを間近に控え、その過ごし方について、親子で真剣に考え話し合うことも大事であると感じています。

精一杯がんばりました！！　～市内陸上大会～

6月6日（木）に桜川小学校で市内陸上大会が行われました。川辺小の選手は、精一杯自分のベストを尽くし、練習の成果を十分に発揮することができました。

陸上大会まで、朝や放課後に真剣に練習する上級生の姿を、低中学年の人たちはあこがれのまなざしで見ていました。川辺小学校のみんなが運動を好きになり、さらに進んで運動するようになれば嬉しいです。

交通事故のない毎日を！！　～交通安全教室～

6月13日（木）に1、2、3年生の交通安全教室を行いました。指導してくださったのは、春日部警察署・春日部市役所・交通指導員さん・交通安全協会のみなさんです。1、2年生は、「道路の安全な正しい歩き方」、3年生は、「自転車の正しい乗り方」を学習しました。大切なことは「確認」です。7月には、4年生が自転車検定を行います。交通事故によるけがや事故がないように、特に**「飛び出し」に注意**して過ごしてほしいと思います。

善行表彰　～ひまわり賞～

児童のみなさんや先生方が見つけた、すすんで善い行いをした人や輝いている人に、本校では「ひまわり賞」を贈っています。今回は、明るく元気なあいさつで模範となっている人、泣いていた1年生に優しく声をかけ教室まで連れていってくれた人、汚れていることに気づき、自主的にきれいにしてくれた人など、25人の人にひまわり賞が贈られました。一人一人の心から、優しさや思いやりの花を、学校いっぱいにそして地域にも広げていけるといいですね。

地域の方々からの子どものがんばりについての情報も受け付けております。善い行いがあった場合は、積極的に学校にお知らせください。

１年生から６年生までみんな仲良し　～交流集会～

6月12日（水）、1年生から6年生までの縦割り班による「交流集会」を行いました。この日は、学校中の教室がスタンプラリーの会場となり、教室に待機している先生から出されるクイズや輪投げなどのミッションに挑戦しながらスタンプを集めていきます。最後は体育館に集まって閉会セレモニーです。代表委員人たちが集計している間、全員で「イントロクイズ」をして楽しみました。そして、時間内に多くのスタンプを集めたチームは、全員の前で表彰されました。